

平成 20 年 2 月 8 日

各 位

会 社 名 浅 香 工 業 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 白 江 清 晃
(コード番号 : 5962 大証第二部)
問 合 せ 先 常 務 取 締 役 管 理 本 部 本 部 長 藤 田 敏 雄
(T E L 072-229-5137)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 19 年 11 月 16 日の中間決算発表時に公表した平成 20 年 3 月期（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 20 年 3 月期業績予想数値の修正（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）

（金額の単位：百万円）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	9, 5 0 0	1 0 0	1 2 0	6 0	5 円 7 9 銭
今 回 修 正 予 想 (B)	8, 8 0 0	5	3 0	1 0	0 円 9 7 銭
増 減 額 (B - A)	△ 7 0 0	△ 9 5	△ 9 0	△ 5 0	—
増 減 率 (%)	△ 7. 4	△ 9 5. 0	△ 7 5. 0	△ 8 3. 3	—
前 期 実 績 (平 成 1 9 年 3 月 期)	9, 4 4 2	1 5 4	1 6 2	8 5	8 円 2 3 銭

2. 修正の理由

当第 3 四半期におけるわが国経済は、米国のサブプライムローンの影響による株価の下落をはじめ、ドル安円高の問題や、原油の異常高騰等が景気の先行き不透明感を増幅いたしました。

このような情勢下におきまして、当社は懸命の拡販策を取ってまいりましたが、昨冬に引き続き今冬も年末まで異常な暖冬で、2 年続きの少雪となり、季節商品である除雪用品の売上が低迷したことが大きく影響し、当該四半期（平成 19 年 10 月 1 日～平成 19 年 12 月 31 日）は前年四半期に比し約 627 百万円の減収となり、当該四半期までの売上高累計は 6, 702 百万円（対前年同期比 8. 9% 減）になりました。

利益面につきましては、コストの削減をはじめ諸経費の節減に努めましたものの、売上高の減少が大きく影響し、営業損失は 22 百万円、経常損失は 5 百万円となり、四半期純損失は 11 百万円となりました。

通期につきましては、更なる営業力の強化と斬新的な商品企画、商品改革を進め、業績向上に邁進してまいりますが、当第 3 四半期の業績等を踏まえ当初の業績予想を修正させていただきます。

なお、期末配当につきましては 1 株につき 3 円を予定しております。

※ 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上